

0023-07

会場：303

時間：5月23日 15:35-15:55

磐梯山地域

竹谷陽二郎・佐藤 公・小椋敏一

福島県立博物館・磐梯山噴火記念館・北塩原村

磐梯山を中心とした「磐梯山ジオパーク推進地域」は次のような特徴を持っている。

1. 磐梯火山の形成過程を理解 東北地方を代表する活火山である磐梯山。古期の活動で形成された楡ヶ峰と赤埴山，新期の活動で形成された大磐梯と小磐梯。磐梯火山の形成過程が裏磐梯爆裂火口の地層断面をはじめ各地の景観や露頭でよく観察できる。
2. 大規模な岩屑なだれによる特徴ある景観の誕生 繰り返し起こった水蒸気爆発による大規模な岩なだれが独特の流れ山地形を造った。岩なだれは，堰き止めにより猪苗代湖や 300 を超える裏磐梯の湖沼群を誕生させ美しい景観を作り出している。
3. 近代自然科学による調査研究 西洋から導入された自然科学。その黎明期に起こった 1888 (明治 21) 年の磐梯山噴火。その原因，メカニズム，被害状況など先駆的な研究が行われ，磐梯式噴火として世界で注目された。その研究は現在も継続されている。
4. 災害の痕跡と記録 1888 年噴火の災害の痕跡が各地に残り，また被害状況が文書や絵図および写真で記録されている。これらは防災を考える上で重要な資料を提供している。
5. 岩なだれがもたらした植生と遷移過程の観察 1888 年の岩なだれやその後の爆裂火口の崖崩れがもたらした堆積物上には，低木林など特徴ある植生が見られる。それらは年々変化しており植生遷移の過程を見ることができる。また，岩なだれにより形成された五色沼の湖沼群には，火山活動による酸性の水質を反映した独特の植物群が生育している。
6. 磐梯山は生活・文化の拠り所 磐梯山や猪苗代湖の周りには旧石器時代からの遺跡がたくさんあり，また，磐梯山を中心とした信仰の史跡が豊富にある。磐梯山はこの地域の人々の生活・文化に計り知れない影響を与えている。

2010 年 3 月に猪苗代町・北塩原村・磐梯町の 3 町村を中心に磐梯山ジオパーク協議会が立ち上がった。現在協議会では，講演会やシンポジウムなど一般住民むけの普及活動や，学校への防災をテーマとした出前講座の実施，ジオツアーガイドの養成，磐梯山・動植物・人間の営みを有機的に結び付けるツアーの企画，ジオサイトでの説明板の設置，ガイドマップやガイドブックの作成を行っている。磐梯山をジオパークにすることで，地域住民の磐梯山についての理解増進と訪問者の増大を図り，この火山の保全と利活用に努めていきたい。